営業内容書（第４号様式）の書き方

(1) 営業内容書の数字は、決算書の数値を千円未満切り捨てて記入してください。

(2) 「業種別実績高」は、営業部門が 2 つ以上に分かれている場合は業種名ごとに、審査基準日の直前２か年の決算額を記入してください。

(3) 「自己資本額」

ア 法人の場合

(ｱ) 「資本金」欄の「直前決算期」は、当該決算の貸借対照表から資本金の額を記入し、「決算後の増減額」は審査基準日までにおいて増資等がある場合、資本金の増減額（減の場合は△をつける）を記入してください。

(ｲ) 「準備金・積立金」欄の「直前決算期」は、前記（ｱ）と同様に貸借対照表から法定準備金（資本準備金、利益準備金等）と積立金の合計額を記入し、「利益処分（損失処理)」は、当期未処分利益の処分による準備金と積立金の合計額を記入してください。

なお、決算後審査基準日までに積立金を取り崩した場合は「決算後の増減額」に△印をつけて記入してください。

(ｳ) 「次期繰越利益（次期繰越損失)」欄の「利益処分（損失処理)」は、当該決算により次期繰越利益（損失）として処分（処理）した額を損失の場合は△印をつけて記入してください。

イ 個人の場合

所得税確定申告決算書等から前記法人の場合の書き方に準じて記入してください。

(4) 「常勤職員数」は、雇用期間を特に限定することなく代表者を有する役員及び事業主を含んだ者で、常時雇用されている職員数を記入してください。

(5) 「流動比率」

ア 「流動資産」は、現金及び預金、受取手形、売掛金、有価証券、商品、製品、半製品、原材料、仕掛品、貯蔵品、前渡金、前払金、前払費用等の流動資産の合計額を貸借対照表から記入してください。

イ 「流動負債」は、支払手形、買掛金、短期借入金、未払金、未払費用、前受金、預り金、前受収益、負債性引当金等の流動負債の合計額を貸借対照表から記入してください。

ウ 「流動比率の計算」は、表示単位未満切り捨てしてください。

例　　123.5% → 123%

※物品等業のみ
（企業団様式）

第４号様式

記載例 *（太字体が記載例）*

営 業 内 容 書

商号又は名称	***千葉 xxx 株式会社***		
営業品目	（出来るだけ詳細に記入し、特に指名を希望する場合は ◯ で囲んでください） ***文房具*** ***事務用機器*** ***家具*** ***室内装飾品*** ***建具*** ***電算機器*** ***ＯＡ消耗品*** ***カメラ・写真用品*** ***ＤＰＥ***	主な仕入先メーカー	（特約店・代理店等はその旨と品目を記載した証明書を添付してください） ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx*** 、 ***xxxxxx***

代理店証明等の添付を忘れずに

営業所一覧	名称	***木更津営業所*** Tel ***0438-xx-xxxx***	名称	***袖ケ浦営業所*** Tel ***0438-xx-xxxx***
	住所	***木更津市 xxx 番地***	住所	***袖ケ浦市 xxx 番地***
	名称	***君津営業所*** Tel ***0439-xx-xxxx***	名称	***千葉営業所*** Tel ***043-xxx-xxxx***
	住所	***君津市 xxx 番地***	住所	***千葉市 xxx 番地***
	名称	***富津営業所*** Tel ***0439-xx-xxxx***	その他	***2*** ヶ所
	住所	***富津市 xxx 番地***		

業務別実績高	希望する業種区分	直前第２年度決算より 自 ***23*** 年 ***4*** 月 至 ***24*** 年 ***3*** 月	自 年 月 至 年 月	直前第１年度決算より 自 ***24*** 年 ***4*** 月 至 ***25*** 年 ***3*** 月	自 年 月 至 年 月	平均年間実績 ①＋②＋③＋④ ／ ２
	文房具	① ***80,000*** 千円	② 千円	③ ***60,000*** 千円	④ 千円	***70,000*** 千円
	事務用機器	***110,000*** 千円	千円	***100,000*** 千円	千円	***105,000*** 千円
	OA 消耗品	***20,000*** 千円	千円	***10,000*** 千円	千円	***15,000*** 千円
	その他	***40,000*** 千円	千円	***30,000*** 千円	千円	***35,000*** 千円
	合計	***250,000*** 千円	千円	ア ***200,000*** 千円	千円	***225,000*** 千円

経営規模			直前決算期	利益処分（損失処理）	計	決算後の増減額	合計
	自己資本額	資本金	イ ***50,000*** 千円		***50,000*** 千円	千円	***50,000*** 千円
		準備金・積立金	(ウ) ***13,300*** 千円	(エ) ***2,000*** 千円	***15,300*** 千円	千円	***15,300*** 千円
		次期繰越利益（次期繰越損失）		オ ***3,000*** 千円	***3,000*** 千円		***3,000*** 千円
		合計	***63,300*** 千円	***5,000*** 千円	***68,300*** 千円	千円	***68,300*** 千円

常勤職員数	技術関係職員数	事務関係職員数	その他職員数	合計
	5 人	***12*** 人	***18*** 人	***35*** 人

経営状況	流動比率	流動資産（カ ***100,000*** 千円） ／ 流動負債（キ ***70,000*** 千円） × １００ ＝ ***142*** %

年数等	創業	休業等期間	現組織への変更	営業年数
	昭和 43 年 ***4*** 月	年 月 ～ 年 月	年 月	***42*** 年 ***10*** 月

※営業所等一覧は千葉県内所在のみとし、多数の場合はその他○ヶ所と記載してください。

ここは財務諸表（例）の数値を記入した記載例です。（ウ）（エ）は合計を記入します。
実際の数値は申請者の財務諸表に基づいて記入してください。
（例にあるカタカナ符号は記入しなくて結構です）